

# これまでの歩みを振り返る 「安心」の視点から

次期総合計画策定までを、年間を通してお伝えする「シリーズ 市政の今」特別編。今回は現在の総合計画の中から「安心のまちづくり」の分野にスポットを当てて、その進捗状況などを振り返ります。



由良川流域の輪中堤(志高地区)



高機能消防指令システムの構築



舞鶴警察署と安全・安心まちづくり協定を締結



地域支えあいサポーター養成講座の様子



舞鶴市休日急病診療所



送水管設置作業の様子(上福井浄水場)



「FMまいづる」ジェネラルマネージャー  
時岡 浩二 さん

## 総合計画審議会委員に聞きました

京都市出身で30代の時にラジオ関連の仕事に転職しました。2年間のアメリカ留学でラジオについて学び、帰国後は「京都三条ラジオカフェ」の立ち上げに携わりました。その後、縁あって、「FMまいづる」の立ち上げに関わることとなり、現在は、舞鶴市で「FMまいづるジェネラルマネージャー」として地域に根ざしたメディアを目指して日々、情報発信を行っています。

もともと舞鶴にはなかったコミュニティラジオは新しい情報伝達手段としてさまざまな可能性を秘めていると考えています。最近では、毎年のように災害が発生している中、「安心のまちづくり」を進めるためには、このような災害時に正確な情報を確実に市民に伝えられる、市民自らが情報を発信し、共有できる体制を整えることが大切です。審議会委員として安心のまちづくりを進めるためには何が必要かを考え、またどのように市民に情報発信を行うのか。これらを総合計画に反映させるよう検討することが審議会で私に求められている役割ではないかと思えます。

### ◆安心のまちづくり

次期総合計画策定の柱の一つである「安心のまちづくり」では、局地的な健康リスクへの対応、少子高齢化や新たな健康リスクへの対応など、時代に合わせ、誰もが安心して住み続けられるまちづくりが求められています。上下水道、道路、交通などの都市基盤の整備や医療・福祉を充実させるため国や府、関係機関などと連携し、さらなる安全・安心なまちづくりを進めています。

### ◆総合計画に基づいた これまでの取り組み・進捗状況

#### 【治水対策・浸水対策】

昨年10月に来襲した台風21号において、由良川流域では、輪中堤などの整備効果で被害が軽減されましたが、東・西市街地は多くの浸水被害が発生しました。今年度から浸水対策担当課長を上下水道部に新設し、浸水対

策を強化します。西市街地では京都府と連携し、高野川改修や内水排水ポンプの整備に取り組む、東市街地では、浸水発生の原因を調査・解析していきます。

#### 【自然災害・原子力災害対策】

風水害、地震・津波、原子力災害などのさまざまな危機事象を想定し「自助・共助・公助」の3つの視点から防災・減災対策に取り組んでいます。各種ハザードマップや原子力災害時住民避難計画(概要版)の配布、各種要望に応じた出前講座などを行っているほか、防災関係機関と連携したさまざまな防災訓練を実施しています。

#### 【消防防災体制】

防災力の向上や防災関係機関との連携で、火災・救急をはじめ、さまざまな自然災害などの危機事象に対応する力を強化しています。また、複雑・多様化、大規模化する災害に対応できるよう、消防車両などを更新し、高機能消防指令システムを導入しました。さらに、複雑・多様化する救急・救助のニーズに

応するため、高度な知識・技術の習得、救急救命士などの資格を有する専門性の高い職員を育成していきます。

#### 【防犯対策・交通安全対策】

平成28年8月に舞鶴警察署と「安全・安心まちづくり協定」を締結。相互連携を強化して、犯罪・交通事故などの安全・安心な地域社会構築に向けたさまざまな取り組みを進めています。具体的には、犯罪抑止効果の高い街頭防犯カメラの設置や、タクシー会社の協力のもと、ドライブレコーダーを動く防犯カメラとして活用することで防犯体制を強化。また、通学路や生活道路の交通安全を確保するため、区域を定めて車の速度を時速30キロに制限する「ゾーン30」の設置などを行っています。

#### 【地域医療の充実】

新たな「京都府中丹地域医療再生計画」(平成24年3月改訂)に基づき、医療機能の「選択と集中・分担と連携」の考えのもと、公的3病院の特色ある診療機能のセンター化や過剰病床の削減、舞鶴市民病院の医療療養型病床への特化などに取り組みしました。また、舞鶴市休日急病診療所を開設し、二次救急(内科)を担います。また、輪番を担う公的病院とも連携し、救急医療体制の充実に取り組みしました。今後も「選択と集中・分担と連携」をさらに進め、公的4病院の連携により、市全体で地域医療が機能する体制を確保し、魅力ある医療環境の創出により、若手医師の確保にも

努め、持続可能な医療の提供を目指します。

#### 【地域福祉の充実】

少子高齢化の急速な進行などにより人間関係の希薄化が懸念される社会情勢のもと、安心して暮らすことができるまちづくりを目指します。共助によるまちづくりを進めるため、地域の実情に応じたさまざまな福祉活動を行う社会福祉協議会と連携して、介護などの支援を必要とする人を見守り・支えあう「地域支えあいサポーター」を養成しています。また、認知症や知的障害、精神障害などで日常生活上の判断や契約、財産管理などが困難な人の権利や財産を守る「成年後見制度」に関する相談・利用支援を行う「舞鶴市成年後見支援センター」を設置するなど、地域とともに見守る体制づくりに取り組んでいます。

#### 【上下水道事業】

上下水道は、市民生活や産業・経済活動に欠くことのできないライフラインです。そのため、水道事業では「未来にたぐくみ安心で安全な水の安定供給」を経営理念として、水需要を見据えた施設の効率化や災害への備えのため、主要な浄水場や管路の耐震化を計画的に進めています。一方、下水道事業では「水環境の保全と住みよい生活環境づくり」を基本理念として、平成32年度中に水洗化を希望される全ての市民が水洗化できることを目指し、処理区域の拡大を進めています。